

鼻クソがたまりやすい人がいる！

どーも、週プレ3年目編集のホヅミです。いやー、花粉症の季節がやってまいりましたねえええ。もともと鼻炎の気があるボクですが、この季節はホント〜につらい。屋外に一步出れば鼻水垂れ流し状態で顔面は崩壊寸前。

もっと最悪なのは鼻クソ！鼻水は鼻がボロボロになりながらも、ひたすらかみまくれればなんとかなるけど、鼻クソの場合はそうはいかない。特にひと晩寝ている間に鼻の奥のほうにどっさりたまった鼻クソの頑固さは異常。ひと思いに指を突っ込んで鼻クソをかき出したいけど、なかなかうまく取れない。それに鼻をほじりすぎて北島●郎御大や勝間●代女史のように鼻の穴がデカくなっても困る。どうしたらいいのか……。

「まあ、鼻クソがたまりやすい人っていますからねえ」

そ、その声は東京の慶友銀座クリニック・大場俊彦院長！ それ

はどんなタイプなんですか!? 「鼻の穴が小さく、鼻の中が細い人は通りが悪いので、自然と鼻クソがたまりやすくなるんですよ。ホヅミさんなど典型的なつまりやすい鼻をしています。ちなみにきれいな女優さんでも鼻筋の細い方は、実は鼻クソがたまってると

「乾燥のせいか、冬になると鼻クソが鼻の奥のほうにこびりついて困るんですよ」。公衆の面前でもドヤ顔でほじるホヅミ

てことも往々にしてあるんですよ」

そうだったんですか！ 確かにボクって鼻の形だけはシュツとしてて、周りから「鼻筋だけ東山紀之」って言われるほどですから。

「鼻の内部が曲がっている人もつまりやすい。鼻は成長に伴って多少は曲がるものですが、曲がりが多い人は、鼻クソを取ろうと思っても取れない。ですから鼻が細く、中がひどく曲がっているような人は、場合によっては手術をしたほうが良い」(大場院長)

誰かに教わったわけでもないのに、皆、指で鼻クソをかき出しているけど、これって正しいんだろうか？ ひょっとして、鼻の穴がデカくなったりするんじゃないの？ ってなわけで、正しいほじり方についていろいろ聞いてみました！

花粉でブツがたまりやすい
今こそ知りたい!
これまで誰も
教えてくれなかった

正しい鼻クソのほじり方講座

やりすぎると鼻の穴が広がる!?!
粘膜も傷つける!!

(右から) 取れてる感じがしない綿棒、奥に入れるには怖い竹製耳かき、パイプ入れられてるみたいなプラスチック製耳かき、鼻毛が絡みそうなコイル式



点鼻薬もしすぎは逆効果とのこと。特に「血管収縮剤」の入っている効き目の強い点鼻薬は、使えば使うほど効果が薄れ、むしろ鼻づまりがひどくなって鼻クソがたまりやすくなるケースも少なくないのだとか。うーん、難しい。あと気になるのが鼻毛の整備。ボクは鼻クソが絡まるのがすっごくイヤで、鼻毛を入念に中のほうまでカットしてるんですが、それって問題ありませんか？

「程度にもよりますが、短くカットしすぎるのは危険。たまに鼻の奥までジョリジョリに刈ってしまった人がいますが、鼻毛が本来持つ「鼻腔内の保湿」と「ホコリや花粉の侵入防止」といった機能が失われてしまい、鼻水や鼻クソが大量に出てしまう」(大場院長)

とはいえ鼻毛出っ放しも考えもの。院長によると、洗えるシェーバーなど清潔な器具を使い、入り口部分のみをカットする程度ならOKとか。つーことで鼻毛を中まで短くしている人は要注意だ！

耳かきのプロも参戦！最新グッズで鼻ほじり！

鼻クソ大量生産のメカニズムがわかったところで、今度はどうやって鼻クソをかき出すかって話ですよ。とにかく鼻の穴を広げることなく、上手に鼻をほじることはできないものか。

そこで元祖・耳かき専門店として有名な秋葉原の「山本耳かき店」に、数多くの耳かきグッズを持参して、耳かきのプロに鼻をほじりまくってもらったぞ！

今回、特別に鼻ほじりを担当してくれたのは、浴衣が似合うあまねちゃん(25歳)。きやわいい！

まずは手始めに綿棒から。あまねちゃん、よろしくううう!!

「ホジホジ、ホジホジ」



山本耳かき店では浴衣姿の女のコが耳かきをしてくれる(鼻ほじりは頼んでもやってくれません!)。ホジもニンマリ。おまえ、趣旨が違ってきてないか？

柔らかさもあって気持ちいいけど、どうにも取れてる気がしない。あのお、あまねちゃん、もう少し強めに削ってくれないか？

「なんか耳と違って怖いからできないですうう」(あまねちゃん)

だよな。でも綿棒を押し当ててポロツと取れるほど、ボクの鼻クソはヤワじゃないんだよお!! (逆ギレ)。まあ、鼻ほじり器具として綿棒は正直、使えないツッパね。続いては竹製の耳かき。どの家庭にもある、あの定番ものだ。これは先端のフック部をうまく使えばけっこう、取れそうぞぞ。

「ホジホジ、ホジホジ」

うおお、これはなかなかいい!! 適度なしなりがあるからそんなに痛くないし! よし、あまねちゃん! その調子で思い切って奥まで突っ込んでー!

「えー、こんな竹串みたいなのを、鼻の奥に入れられませんよお」

またですか! でも、確かに豪快にプチ込んで鼻血ブーになっても困るもんね。

3番手はプラスチック製。素材はともかく太さが気になる……。

「ブスツ! ホジホジ、ホジホジ」

なんだろうこの体の中に硬くて太い異物が入り、かき回されている感じ。まるで、処女なのに極太パイプでもてあそばれているような感覚。それでいて、あんまり取れてる感じもしない(涙)。

「取れませんね。太いから中で動かしづらいです」(あまねちゃん)

利点は、洗えばいつでも清潔に利用できるそうとこごらう。つーか太いのは基本的にダメ!!

最後に登場はコイル式の耳かき。先端部のコイル部分を耳の中で360度回転させることで、溝にゴツンリと耳垢を付着させるというスグレもののだ。これは期待できそう。

「ゴリゴリ、ゴリゴリ」

痛っ! 何この鼻のデリケートゾーンにぐいぐいくる感じ! しかも鼻毛が絡みそう! その分、鼻クソは取れそうだけども……。

「むしろ全然、取れないんですが」(あまねちゃん)

うそーん……。結局、どれもしつくりこないというか、あんまり使えないことが判明。うーん、もつとほかに使えるグッズってないの? 再び、大場院長に聞いた。

「器具なんて絶対に使っちゃいけません! 器具の先が取れて鼻の

奥に入ってしまうと大変なことになる。耳は鼓膜がストッパーの役割も果たすのですが、鼻にはそれが無いので、場合によっては食道や気管にも入ってしまう。仮に気管に入れば命に関わる問題になります」

ひえー、そうだったんですか! じゃあ、鼻クソはどうやって取ったらいいんですか?

「まずお風呂に入ったときに、鼻をよくかむこと。お風呂場は温度も湿度もあるので鼻水、鼻クソが取れやすいんです。それでも鼻クソがたまると、これはもう指でほじるしかない。誤解されてますが、鼻をほじったところで鼻の穴は広がりはしません。なので唯一にして最善の方法は指で堂々とほじることなのです」(大場院長)

鼻をほじり倒してもデカくなるなんて朗報すぎます! (感涙)。

皆、これからは心置きなく、どこでも鼻をほじりまくりましょう!

ホジミを診察する大場院長。どうしても鼻クソがたまりすぎて困るという人は、本格的な治療が必要になるかもなので、お近くの専門医に相談しましょう

